



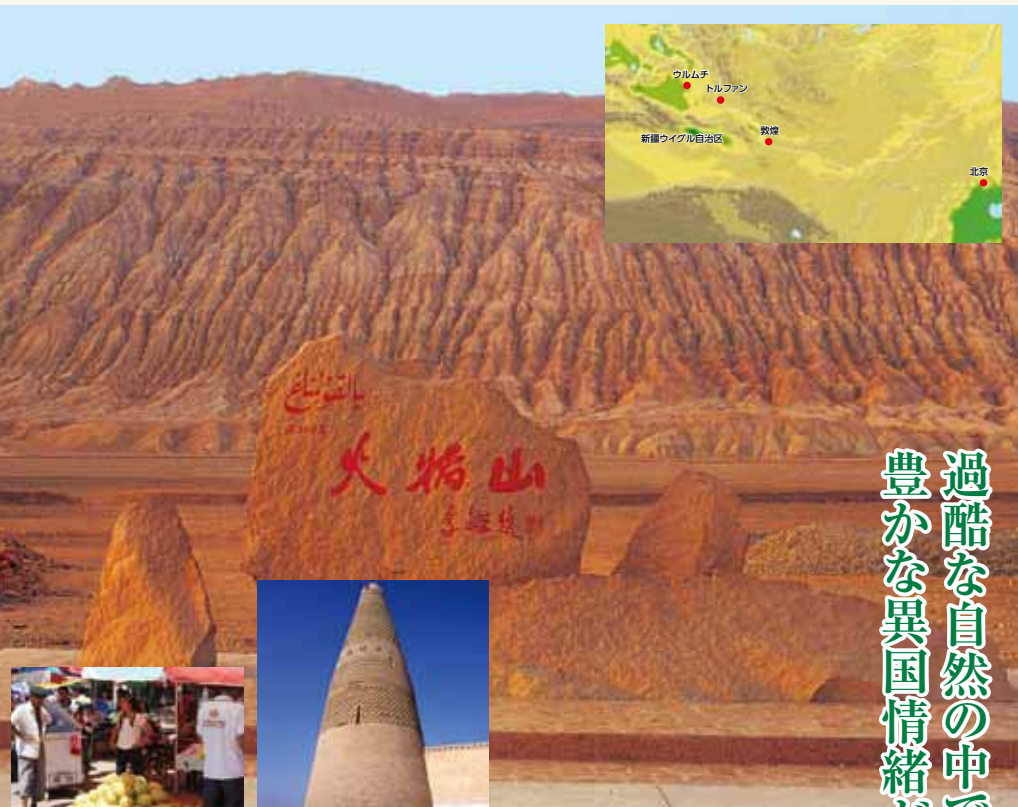
ウルムチの東110キロにある天山山脈中腹の湖「天池」(標高1900メートル)



約1500年にわたり興亡の歴史が繰り返された交河故城(トルファン)



カラフルな服を身にまとったトルファンの女性



葡萄とともにトルファンの名産として知られるハミウリ



18世紀後半に建てられたイスラム建築の蘇公塔(トルファン)

「西遊記」の舞台となったことでも知られる火焰山

過酷な自然の中で旅人を迎えたオアシス都市 豊かな異国情緒が彩るトルファン〜ウルムチ

シルクロードの天山北路と天山南路を分ける要衝として発展したトルファンとウルムチ。遠い昔、過酷な自然条件の中を往来する旅人たちを迎えたオアシス都市は、西域の辺境ロマンと異国情緒豊かな文化を今に伝えてくれる貴重な存在です。

1500年に及ぶ興亡の歴史

中国の北西部に位置し、国土の6分の1に当たる166万平方キロという面積を持つ新疆ウイグル自治区。古代シルクロードは、南中北の3ルートが新疆を通り抜け、沿道には数えきれないほどの旧跡が残されました。

「シルクロードに燦然と輝く真珠」とも言われたトルファンは、新疆東部の山間盆地にあり、真夏の気温は40度以上、地表の温度は80度に達することもあるため、「火州」とも言われています。北部には、海拔500メートル・東西100キロにわたる山脈があり、山全体が赤紫色で日光の直射を受けると燃えさかる炎のように見えることから「火焰山」と名付けられました。「西遊記」の舞台となったことから、日本人にも馴染みの深い地名として知られています。トルファンの西16キロにある交河故城は、戦国(紀元前475〜221年)末期から元

代(1206〜1368年)にいたるまで、約1500年にもわたり興亡の歴史が繰り返されました。唐代には西域経営の拠点として三つの軍が配置され、最盛期にはイランのサラセン朝としのぎを削ったという栄光の城です。13世紀にジンギスカンによって破壊されて廃墟となつてからでも既に600年が経過し、城壁や仏塔なども説明されなければ、それと認識するのも難しいような景観が広がるものの、逆に想像力を掻き立ててくれます。

漢代に西域都護府が置かれ中国の版図に

唐代に三蔵法師が経典を得るために西へ向かう途上、1カ月にわたって滞在したという高昌故城は、トルファンの東40キロにあり、西暦498年に高昌国の王城として建設され、唐によって滅ぼされるまで約1世紀半にわたって天山南路のオアシス都市として繁栄しました。

新疆ウイグル自治区の区都であるウルムチには、ウイグル族をはじめ40を超える民族の200万人以上が暮らし、「世界でも最も内陸にある大都市」と言われています。漢代に西域都護府が置かれて中国の版図に入ったウルムチは、天山山脈の北麓に位置し、郊外には天池や南山牧場など雄大な自然が広がる一方、市街地にある活気にあふれたバザールは、地元の人々の暮らしを実感させてくれ、手ごころな値段段でお土産にも喜ばれる様々な商品が並びます。